



< 1月15日は“フードドライブの日” >

“子どもの貧困”や“食品ロス”にも寄与

第12回「カーブス フードドライブ」実施

～家庭にある食料品をカーブス店舗へお持ちください！
集まった食料品を全国の福祉施設・団体へ寄付します～

女性だけの30分健康体操教室「カーブス」*1では全国約1,900の店舗*2において、家庭にある常温で保存できる食料品（賞味期限が2019年5月1日以降の食料品）を募り、地域にある児童養護施設や母子生活支援施設といった女性や子ども、高齢者の方々のいらっしゃる施設・団体に寄付をする活動『フードドライブ』の食料品の受付を2019年1月15日（火）から2月15日（金）までの1ヶ月間行います。

フードドライブは、米国で1960年代に始まり、学校や企業、地域などで定着していますが、2007年にカーブスがこの活動を始める前には、国内では全国組織でフードドライブ活動を実施している企業・団体はありませんでした。カーブスでは2007年11月に初めて全国同時に実施後、参加者の「お歳暮やお年賀の後の方がもっと提供できる食料品があるのに」という声を反映し、3回目より実施時期をお正月明けの1月15日からの1ヶ月間としています。また、これを機にこの活動を広く知っていただくため、1月15日を“フードドライブの日”に制定しました。カーブス会員の皆様に加え、地域の皆様にもご参加いただける、地域密着型のボランティア活動です。

厚生労働省の調査*3によると、相対的貧困率は15.6%、17歳以下の子どもの貧困率も13.9%となっており、豊かとみられている日本でも6人に1人、子どもにおいても7人に1人が貧困線以下で生活しています。カーブスは全国約1,900店舗を展開し、約83万人（2018年8月末日時点）の女性に通っていただいております。地域に根差した店舗運営を活かして、食料を必要としながら確保が出来ない女性や子ども、高齢者の方々のための施設・団体に寄付し地域社会貢献活動として推進してまいります。また、同活動を通じて、農林水産省が食品産業の環境対策として掲げる食品ロスの削減の一助となるべく活動してまいります。



フードドライブ実施風景(2018年)

カーブスでは「いま、私たちにできること」は何かを考えました。ひとりではできることは限られていても、力を合わせれば大きな支援になります。皆様のお力を、フードドライブを通して大きな輪にし、たくさんの方々のお力になれるよう、今年も取り組んでまいります。

*1 運営・展開は株式会社カーブスジャパン(住所:東京都港区/代表:増本岳)

*2 一部店舗ではお預かりのみになります。

*3 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査の概要」

■ 第12回 カーブスフードドライブ 実施概要

実施期間	： 2019年1月15日(火)～2月15日(金)
実施店舗	： 全国のカーブス店舗約1,900店舗(2018年10月オープン店舗まで)
参加者	： カーブス会員、一般の方々
寄付内容	： 賞味期限が2019年5月1日以降の常温で保存できる未開封の食料品 (例:缶詰やレトルト食品、お米、乾麺、調味料など)
寄付先	： 各地域の児童養護施設、母子生活支援施設・団体、介護施設など
協力	： 公益財団法人日本フードバンク連盟、全国フードバンク推進協議会
問い合わせ先	： 一般の方からの各種お問い合わせ、最寄り店舗のご案内は下記番号でお受けします。 フリーダイヤル 0120-441-029/平日10時～18時

■ 前回活動実績 (2018年)

参加者数	： 約17万7千名	集まった食料品の量	： 約251t
お届け先施設数	： 全国704施設		

【本件に関するお問い合わせ先 ・ ご取材のお申込】

株式会社カーブスジャパン 広報室 小山(コヤマ)・片桐 TEL:03-5418-9911 E-Mail:pr@curves.co.jp